

(2020年9月13日)



第17回 日本乳癌学会中部地方会 教育セミナー 治療部門

公立松任石川中央病院 外科
石井 要

症例 1

患者：45歳（初診時）、女性

主訴：右乳房の硬結→精査にて右乳癌の診断

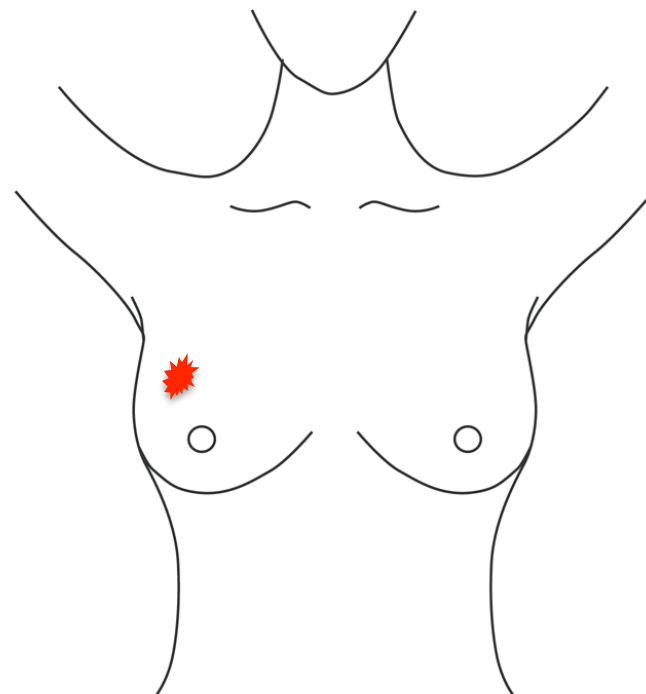
既往歴：特記事項なし

家族歴：なし

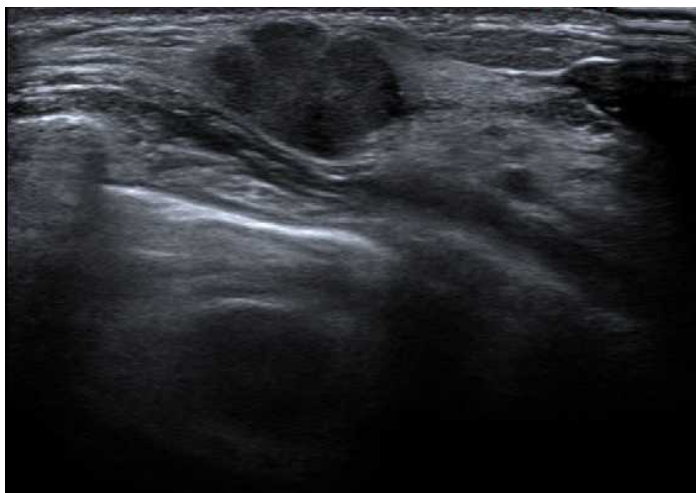
職業歴：エステティシャン

現症：

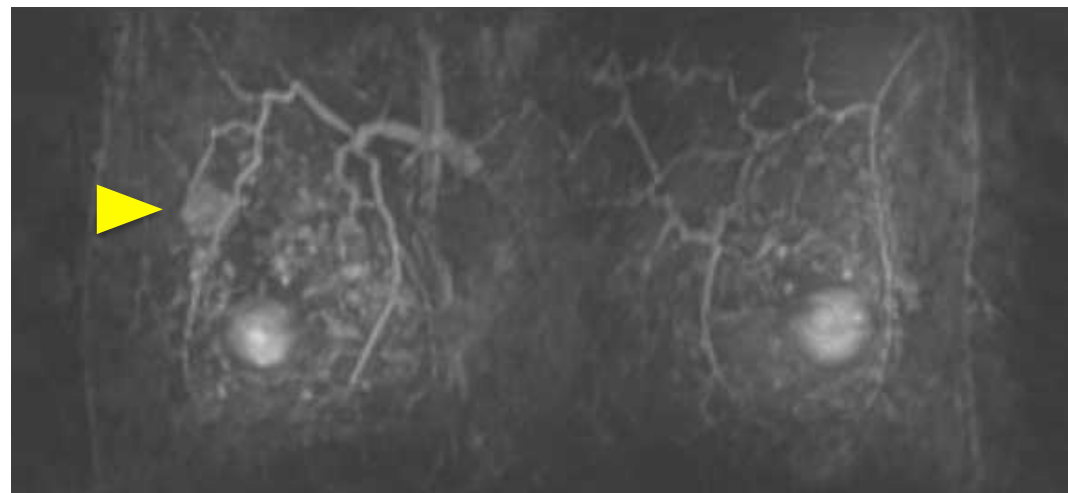
右乳房C区域に2cm大の腫瘍触知
可動性あり



乳房US検査

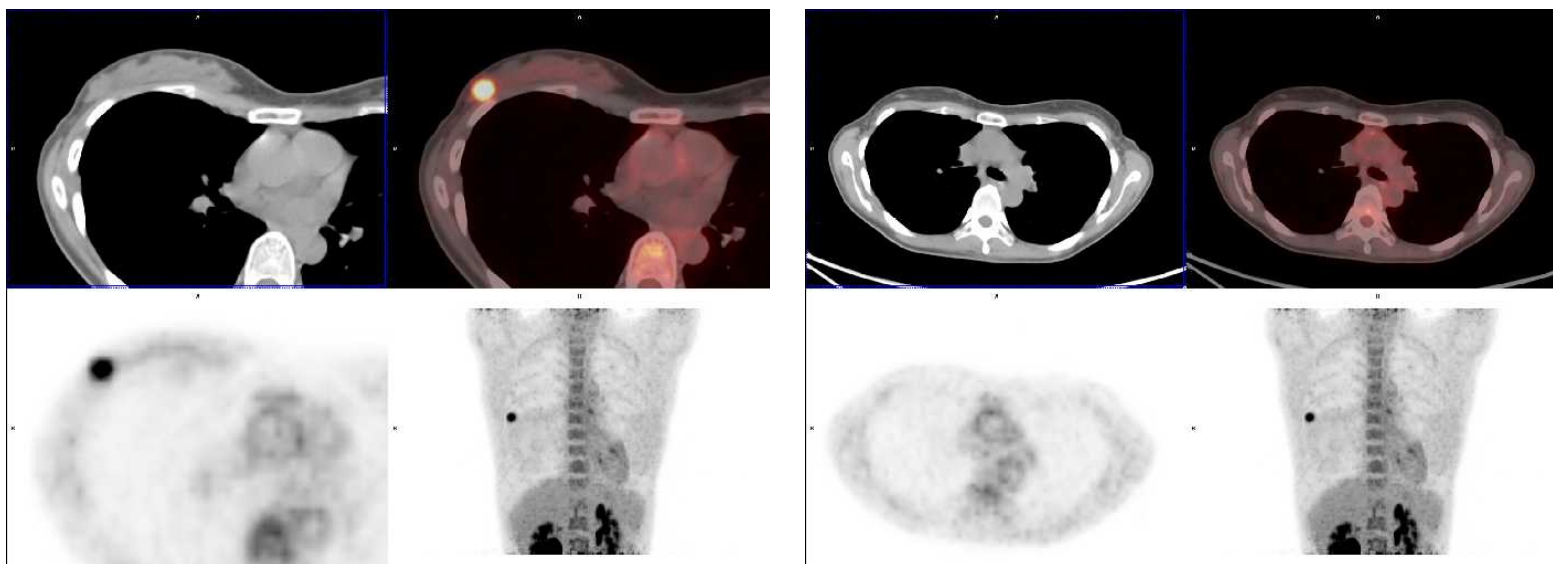


乳房MRI検査



CNB検査: invasive ductal carcinoma, tubule-forming
ER: Negative, PgR: Negative, Her2: Negative

PET-CT検査



術前診断：

右乳癌、C区域、1.5cm

cT1cN0M0, cStage I , ER-, PgR-, Her2-

Q 乳房右乳房部分切除術を選択しました。

腋窩に対する手術はどのようにしますか？

手術：右乳房部分切除術＋センチネルリンパ節生検

迅速診断にて、センチネルリンパ節にマクロ転移
(1/2) を認めた。

腋窩リンパ節郭清は省略して手術を終了とした。

Q 腋窩に対する放射線治療はどうしますか？

手術：左乳房部分切除術＋センチネルリンパ節生検

迅速診断にて、センチネルリンパ節にマクロ転移
(1/2) を認めた。

例えば、本症例が78歳、女性であったら

- ・術後化学療法施行が困難かも知れないと
考えられる場合は、腋窩リンパ節郭清を
行いますか？
(放射線治療は行えそうだが・・・)

症例 2

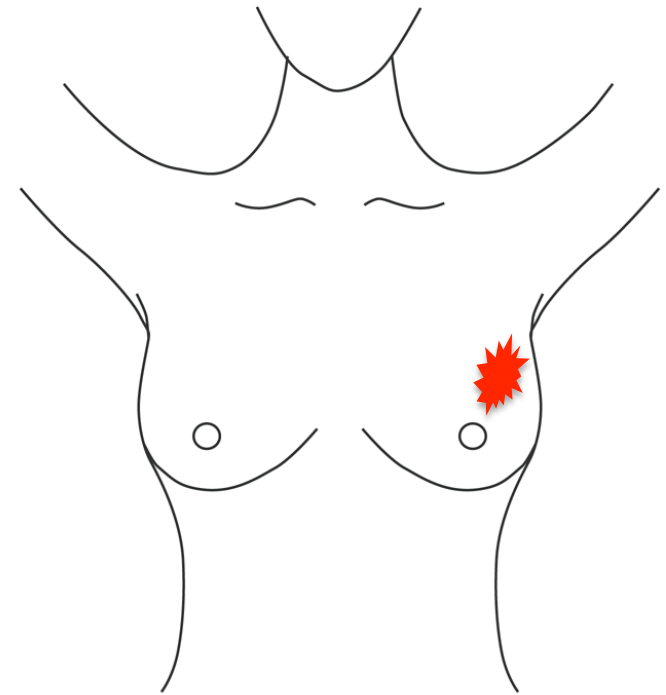
患者：38歳（初診時）、女性

主訴：左乳房の硬結→精査にて左乳癌
針生検では、DCISと診断

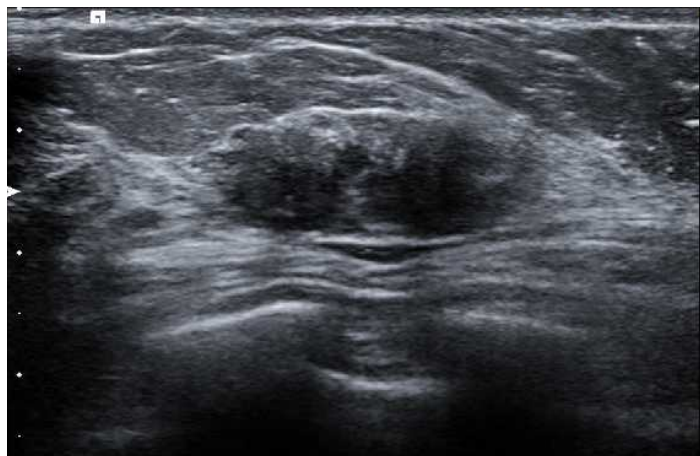
既往歴：特記事項なし

家族歴：祖母（年齢不詳、乳癌）
母（48歳時、乳癌）
叔母（年齢不明、卵巣癌）

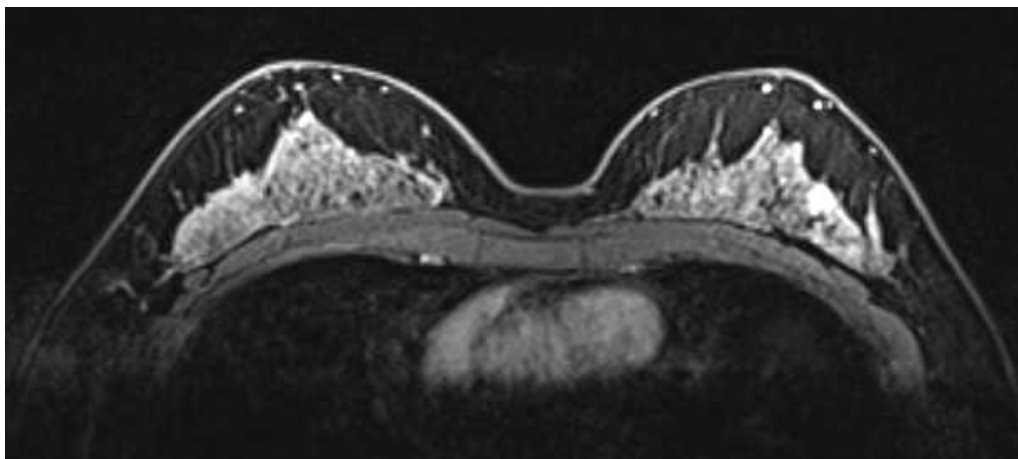
職業歴：会社員



乳房US検査



乳房MRI検査



CNB検査: DCIS, ER: positive, PgR: positive

術前診断:

左乳癌、CD区域、3.0cm

cTisN0M0, cStage0, ER+, PgR+

Q 術前には、診察や画像検査（MMG, US, MRI）、病理診断、全身麻酔前検査以外に行っておくことは？

遺伝カウンセリングを受けたのち、BRCA検査が行われ、変異有りと診断された。

Q 手術術式はどのように提示しますか？

患側乳房・腋窩手術
対側乳房・腋窩手術
乳房再建
卵巣手術

遺伝カウンセリングを受けたのち、BRCA検査が行われ、変異有りと診断された。

手術は、CRRMを含めた両側乳房全切除術＋乳房再建を希望された。

Q 術式決定の際には、
どういった配慮が必要となりますか？